

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

地球温暖化や消費者志向の変化の中、農地の集約化により大規模農家を育成し、ドローンの活用等によるスマート農業を推進する。また、寒暖差のある熊本県の気象条件を生かし暖地の天草から寒冷高地の阿蘇地域まで農業人材が通年で米作に従事できるような環境を実現し、生産と流通の一体化による6次産業化、美味しさ、質、価格のバランスを追求し消費者に喜ばれるリーディング米穀企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に◎)	SDGsに関する重点的な取組み	指標
◎環境 ◎社会 ◎経済	農地の集約化による土地活用型の大規模農家の育成支援(米作10ha以上)	米作 10ha以上の農家の支援戸数 2021年5戸 →2024年10戸
◎環境 ◎社会 ◎経済	スマート農業の推進(ドローンの普及・活用による農薬・肥料散布面積の拡大)	2021年22ha →2024年50ha
◎環境 ◎社会 ◎経済	気象条件の違いを生かし農業人材の通年稼働を目指した農地、機械、労働力の効率運用	受託農地の面積 2021年0ha →2024年30ha

<パートナーシップ>

米麦集荷事業者として、関係の深い農家、肥料・農薬メーカー、取引業者、地域、行政等と連携を深め、信用、信頼をさらに高めていくとともに、会社内においては、社員の働く環境の改善を図り、一丸となって生産者と消費者との蝶つがいの役割を進化・発展させていく。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携があれば記載してください。

○ SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係る進捗状況(※更新の場合のみ。)

○登録状況:第 期登録(登録年月日: 年 月 日)

○登録番号: 号

<SDGsに関する重点的な取組み状況、前期の指標及び実績>

三側面 (分野に◎)	取組みの状況	前期の指標	実績
◎環境 ◎社会 ◎経済			
◎環境 ◎社会 ◎経済			
◎環境 ◎社会 ◎経済			

- ・「登録状況」及び「登録番号」を記載してください。
- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。